

- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 壁スイッチがONの状態 で一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- 停電などでブルレス操作がはたらき、明るさが切り替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどでお好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- パイロットスイッチ(電源ON時に表示灯が点灯するタイプのスイッチ)を使用される場合は、表示灯がわずかにちらついたり、リモコンでの消灯時に微点灯することがありますが、異常ではありません。

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDの輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

取説No. C117-822 HR/S・T-01

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
🚫 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない でください。→やけどの原因になります。	🚫 禁止	器具の下にストーブなどの高温のものを置か ないでください。また、燃えやすいものを近づ けて使用しないでください。→火災の原因にな ります。
🚫 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。→火災・感電の原因にな ります。	❗ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使 用しないでください。→火災・感電の原因にな ります。
🚫 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。→火災の原因になります。調光器の 取外しが必要です。調光器の取外しには資格が 必要です。工事店・電器店に依頼してください。 周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。→火災・感電の原 因になります。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異 なりませんが、一般的な使用状態で8～10年が目 安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店) による点検を実施していただき、不具合があり ましたら適切な処置を施してください。→放置 すると、火災・感電・故障の原因になります。

■ 定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AH47879L・AH47880L	AC100V	0.48A	47.7W	LED
AH47881L・AH47882L		0.43A	42.1W	
AH47883L・AH47884L		0.37A	36.0W	

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■ 取付前の確認 ⚠ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている
配線器具が確実に固定されているか
確認する。



シーリングボディ



フル引掛
シーリング



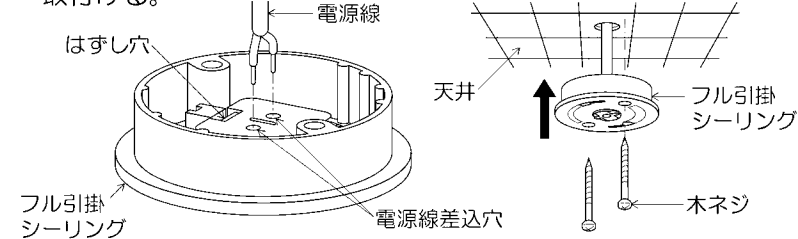
埋込ローゼット



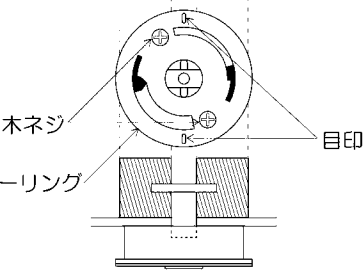
フル引掛
ローゼット

2 配線器具がついていない場合

付属のフル引掛シーリングを木ネジで天井に確実に
取付ける。



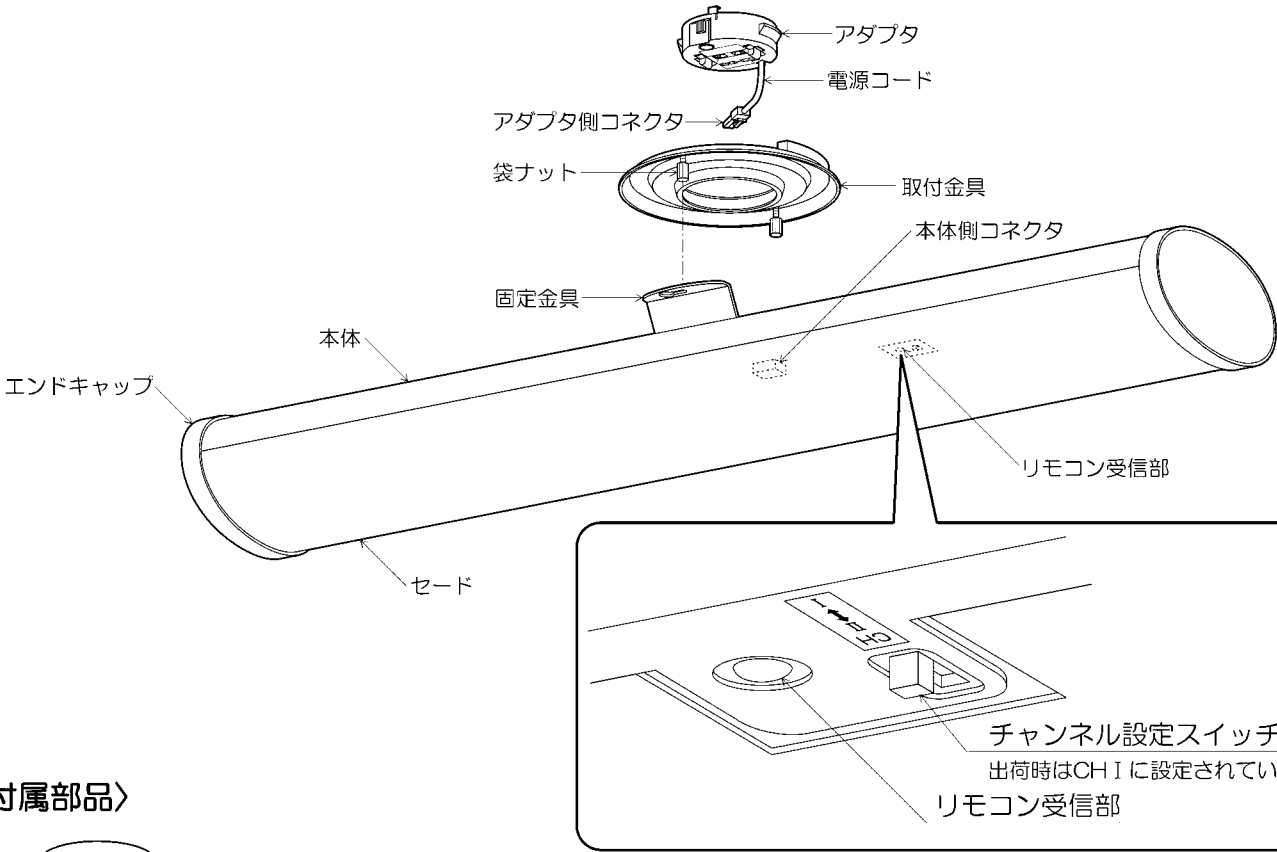
※目透かし天井に
取付ける場合は、
目印を目透かし
方向に合わせて
取付ける。



※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

■ 取付手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

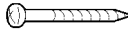
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



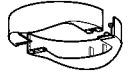
〈付属部品〉



フル引掛シーリング・・・1個

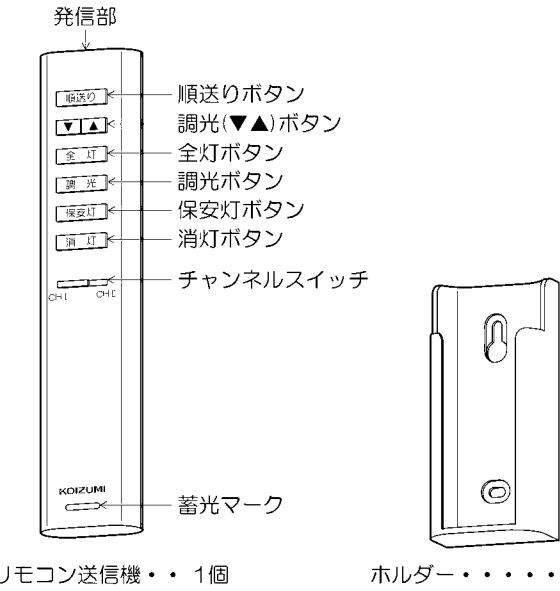


木ネジ・・・・・・・・・・2本



フランジカバー・・・・・・1セット

〈リモコン送信機一式〉

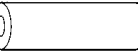


リモコン送信機・・・1個

ホルダー・・・・・・1個



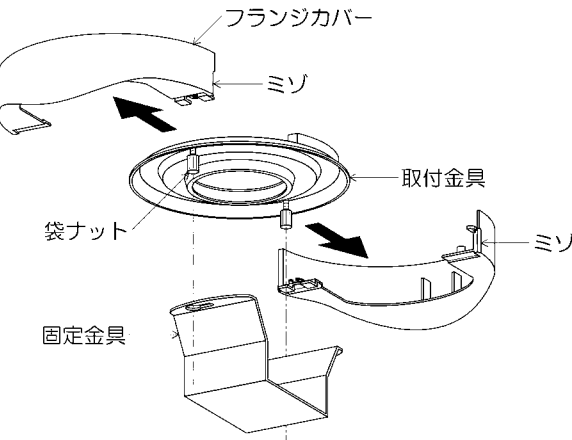
取付用木ネジ・・・・・・・・2本



単3形電池・・・・・・・・2本

1 フランジカバー・本体を取外す

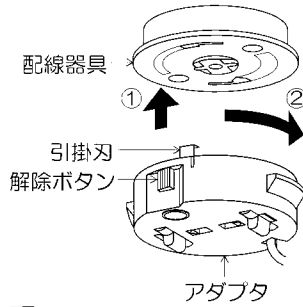
フランジカバー外側のミソを引っ張ってフランジカ
バーを取外してから、袋ナットをゆるめて本体を取
付金具から取外す。



2 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、“カチッ”と音がするまで右に回す。

△警告 解除ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

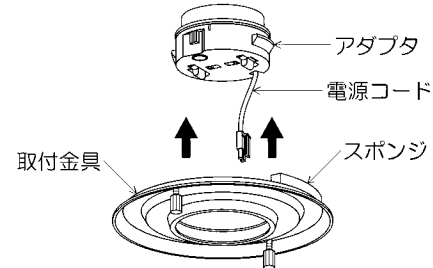


3 取付金具を取付ける

- ①取付金具の穴に電源コードを通す。
- ②取付金具をアダプタに合わせて押し上げる。

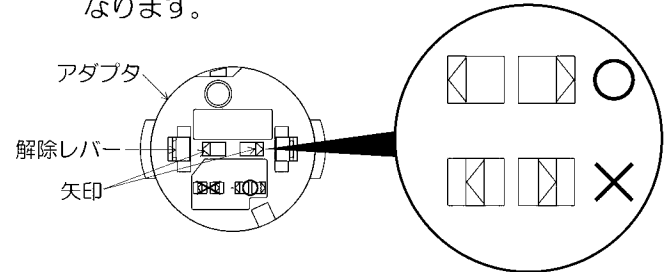
※取付金具を確実に取付けてください。

※取付金具裏面についているスポンジは取らないでください。本体回転防止のため必要です。



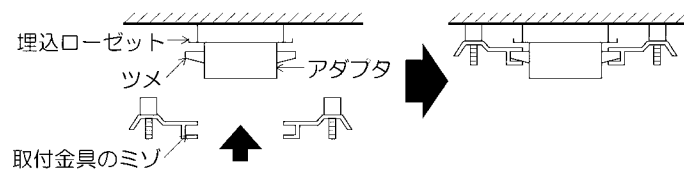
※取付金具の取付けは＜埋込ローゼットの場合＞、＜その他の配線器具の場合＞をご覧ください。

△警告 解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



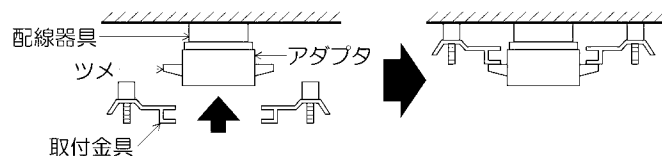
＜埋込ローゼットの場合＞

アダプタのツメに取付金具のミソが引っ掛かるように1段階押し上げる。



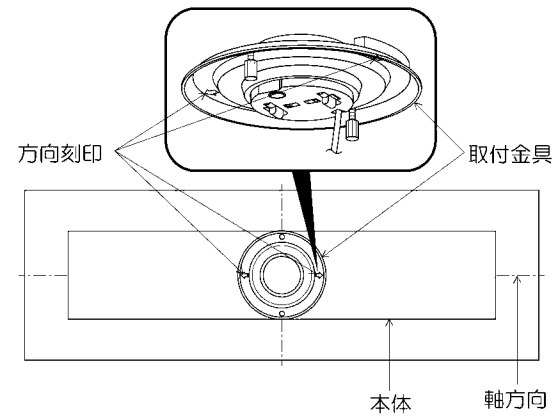
＜その他の配線器具の場合＞

アダプタのツメに取付金具が引っ掛かるように2段階押し上げる。取付金具がガタつく場合は再度強く押し上げる。



4 本体の方向性について

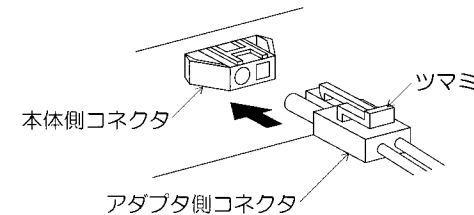
取付金具を取付ける際、取付金具の方向刻印が部屋の軸方向に向くようにして取付ける。



5 コネクタを接続する

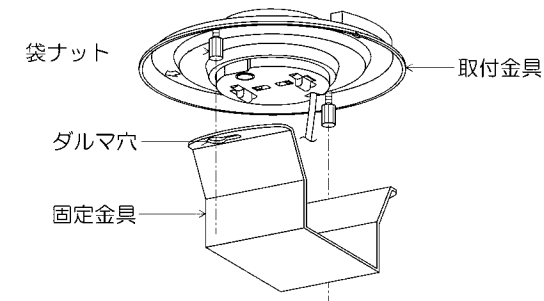
本体を支えながら、コネクタを接続する。

※アダプタの取付方向によってはコネクタを接続することができません。その場合はアダプタを180°回転させて取付けてください。

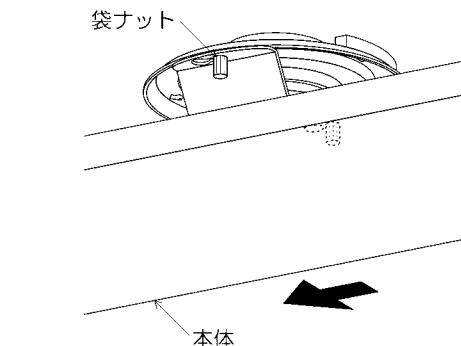


6 本体を取付ける

本体の固定金具のダルマ穴を取付金具の袋ナットに合わせる。



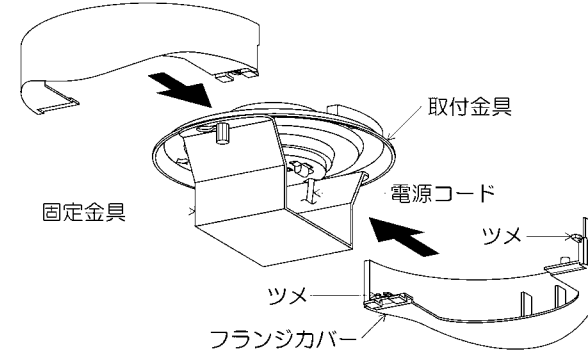
本体をスライドさせ、袋ナットを締め付けて取付ける。



7 フランジカバーを取付ける

フランジカバーを固定金具と取付金具に合わせ、フランジカバーのツメをはめ込んで取付ける。

※取付けの際、電源コードをはさまないでください。

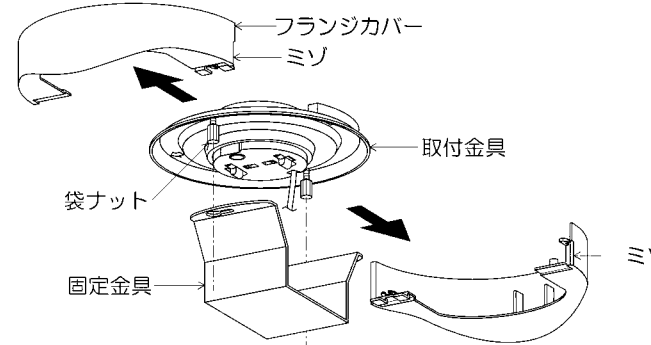


■取外手順

1 壁スイッチで電源を切る

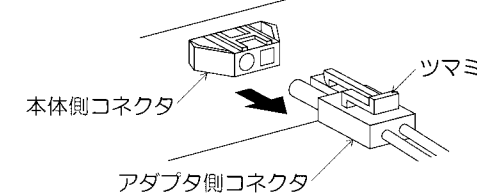
2 フランジカバー・本体を取外す

フランジカバー外側のミソを引っ張ってフランジカバーを取外す。本体を支えながら、袋ナットをゆるめて本体をスライドさせ、取付金具から取外す。



3 コネクタを取外す

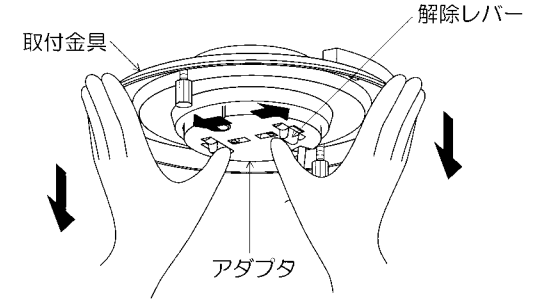
アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。



8 点灯の確認を行なう

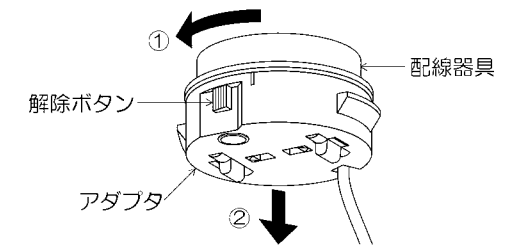
4 取付金具を取外す

取付金具を支えながら、アダプタの解除レバーを外側に広げ、取付金具を取外す。



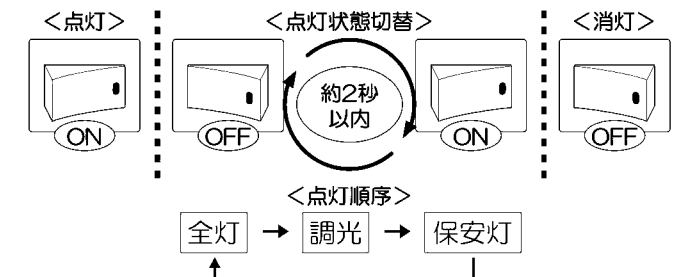
5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。



■壁スイッチで操作する (プルレス操作)

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにすると点灯状態の切り替え(プルレス操作)ができます。
 - ※壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をプルレス操作することは避けてください。
- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。(壁スイッチがONの状態でも一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。)
- 出荷時、調光は60%、保安灯は80%に設定されています。



■リモコンで操作する ※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

調光(▼▲)ボタン
点灯時の明るさを調整できます。
主光源(100%~約1%)、保安灯(5段階調光)をお好みの明るさに調整できます。(周囲温度約25℃時)
※調光状態は、室温、器具状態によって多少変化します。

チャンネルスイッチ
2台の照明器具を個々に操作する場合に照明器具側のチャンネルと合わせます。
＜2台の照明器具を操作する場合＞
一室で2台の照明器具をリモコン送信機で操作する場合は、どちらか一方の照明器具のリモコン受信部のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。

順送りボタン
全灯 → 調光 → 保安灯 → 消灯
の順送りが可能です。

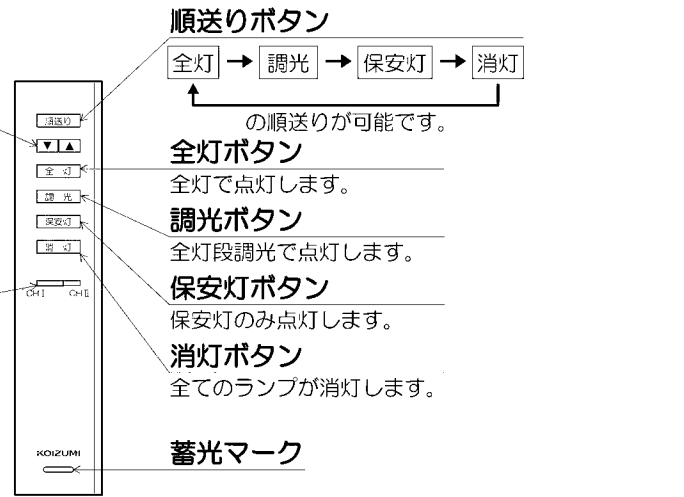
全灯ボタン
全灯で点灯します。

調光ボタン
全灯段階調光で点灯します。

保安灯ボタン
保安灯のみ点灯します。

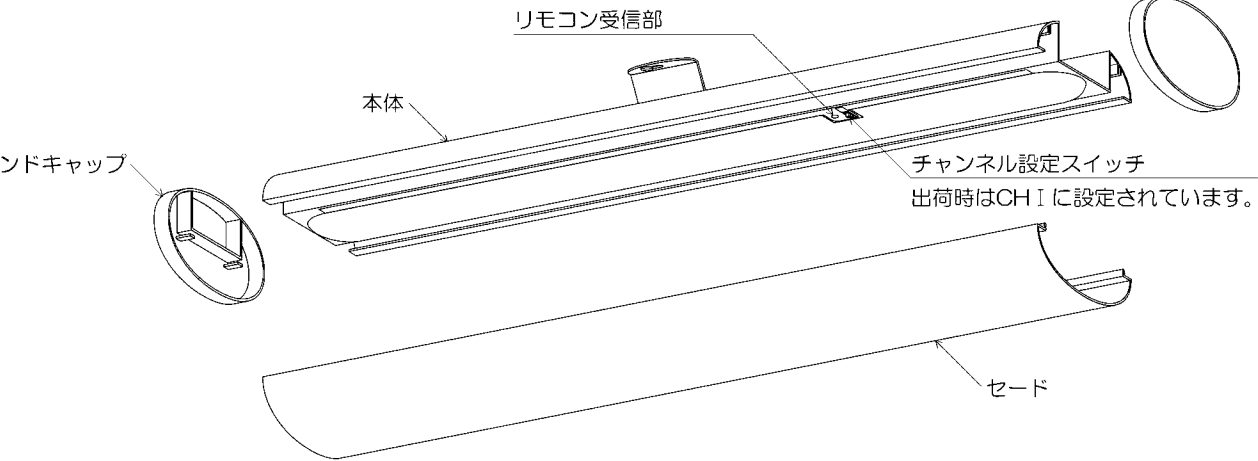
消灯ボタン
全てのランプが消灯します。

蓄光マーク



2 リモコン受信部のスイッチについて

チャンネル設定スイッチはセード内にあるため、■取外手順を参考に本体を取外し、エンドキャップとセードを取外してからチャンネルの設定を行なってください。

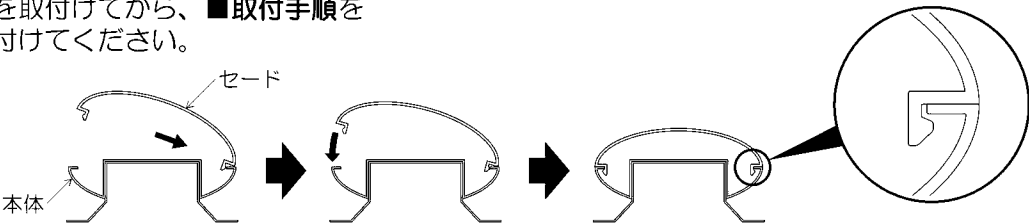
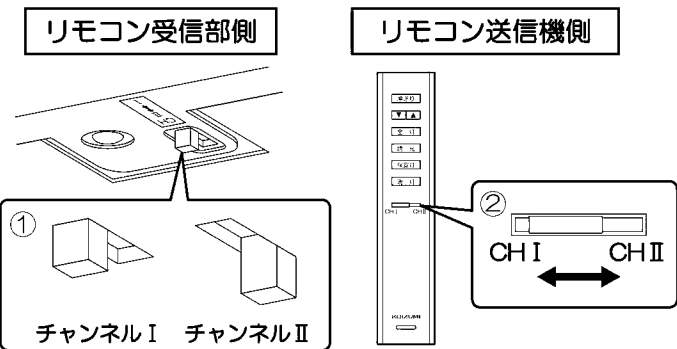


3 チャンネルの設定について

＜1台の器具のみ操作する場合＞
リモコン送信機のチャンネルをⅠにしてください。

＜2台の器具を操作する場合＞
一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルをⅠにし、他方をⅡにしてください。
リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

●チャンネルの設定後、セードを本体にはめ込み、エンドキャップを取付けてから、■取付手順を参考に本体を取付けてください。

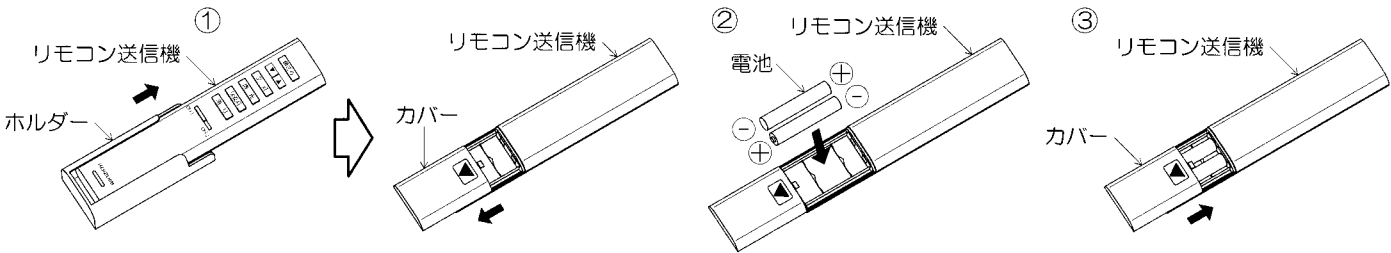


■リモコン送信機について

1 リモコン送信機に電池を入れる

- ①リモコン送信機をホルダーから取り出し、カバーを外す。
- ②電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③カバーを取付ける。

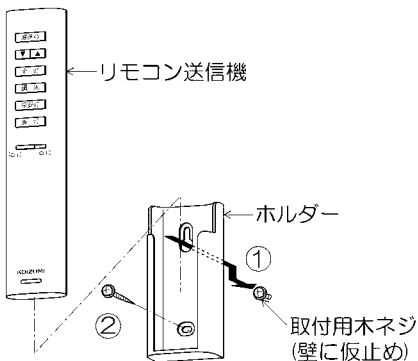
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

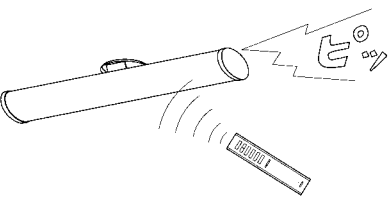
- ①必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ②2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締め込まないようにしてください。
ホルダーが破損するおそれがあります。



3 リモコン送信機を操作する

ホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。作動すると確認音が本体よりします。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり、電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。
しゃへい物をさけて再度ボタンを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信機が作動しにくい場合があります。

